

だい き かわさきくくみんかいぎせんもんぶかいしんちよくじょうきょうほうこく
第4期川崎区区民会議専門部会進捗状況報告

せんもんぶかいめい 専門部会名	ぶかい みんなのまちづくり部会		
ちいきかだい ぶんや 地域課題の分野	1 ぼうさいまた ちいきこうつうかんきょう こうじょう 防災又は地域交通環境の向上	2 みどり ほぜん しぜんかんきょうまた せいかつかんきょう こうじょう 緑の保全などの自然環境又は生活環境の向上	3 さんぎょう しんこう と しきょてん けいせい ぶんかまた かんこう しんこう 産業の振興、都市拠点の形成、文化又は観光の振興
かだい 課題	(1) かくちいき ぼうさいくねん すいしん 各地域における防災訓練の推進 (2) ぼうさいちしき ふか こ がいこくじん ぼうさいにんしき ふか 防災知識を深める(子どもや外国人の防災認識を深める) (3) ひなんじよ じゅうじつ みなお 避難所の充実(見直し) (4) はざーどまっぷ こうかてき しゅうち ハザードマップの効果的な周知 (5) さいがいのち ちいき たいおう きょうか 災害時の地域の対応の強化 (6) ぼうさい きくち ちいきこみゆにてい 防災を切り口にした地域コミュニティづくり (7) とうきょうわん つなみたいさく 東京湾の津波対策 (8) こみゆにていばすどうにゆう けんとう じっし む けんとう コミュニティバス導入の検討(実施に向けた検討) (9) くない こうつうたいけい けんとう 区内の交通体系の検討 (10) けいきゅうさんぎょうどうろえき ば すてい 京急産業道路駅のバス停 (11) ほこうしゃ あんぜん ある かんきょうせいび ほしやぶんり など 歩行者が安全に歩ける環境整備(歩車分離等) (12) じてんしゃ あんぜんうんでん るーる まな しゅうち 自転車の安全運転、ルール、マナーの周知	(1) ちいきりよくかすいしん みどり ふ かつどうすいしん 地域緑化推進・緑を増やすための活動推進 (2) く はな く き かつよう くみん かんきょういしき こうじょう 区の花・区の木を活用した区民の環境意識の向上 (3) く はな く き かつようほうほう 区の花・区の木の利用方法 (4) せいかつかんきょう せいび 生活環境の整備 (5) まちなか びか 街中の美化	(1) かわさきく しげん さんぎょう ひろ し 川崎区の資源である産業を広く知ってもらえるような アピール (2) さんぎょう しょうぎょう かつせいか 産業、商業の活性化 (3) とうかいどう かつせいか 東海道の活性化 (4) はねだくこう らいきゃく い かつせいか 羽田空港からの来客を活かした活性化 (5) かわさきく れきしてきしげん かつよう かんこう しんこう 川崎区の歴史的資源を活用した観光の振興 (6) たぶんか かつよう く みりよく 多文化を活用した区の魅力づくり (7) かわさきく かんこうすぼつと かいゆう しく 川崎区の観光スポットを回遊する仕組みづくり (8) れきしてきしげん とうかいどう い ぶんか かんこう 歴史的資源である東海道を活かした文化・観光まちづく り
もくひょう ほうしん 目標(方針)	例 (1) れい さいがい きき そな 災害や危機に備える (2) かいでき ちいきこうつうかんきょう 快適な地域交通環境をつくる	例 (1) れい かんきょう はいりよ じゅんかんがた 環境に配慮し循環型のしくみをつくる (2) せいかつかんきょう まも 生活環境を守る (3) みどりゆた かんきょう 緑豊かな環境をつくりだす	例 (1) れい かわさき ささ さんぎょう しんこう 川崎を支える産業を振興する (2) とし きょてんきのう せいび 都市の拠点機能を整備する (3) かわさき みりよく そだ ほっしん 川崎の魅力育て発信する (4) ぶんか げいじゆつ しんこう ちいきかんこうりゆう すす 文化・芸術を振興し地域間交流を進める

しんぎてーま せんていりゆう ぶかい だ おも いけん 審議テーマの選定理由(部会で出された主な意見)	しんぎてーま 審議テーマ
① くみん あん けーと ぼうさい かん もんだいしき ひじょう たか 区民アンケートでは、防災に関する問題意識が非常に高くなっている。 ② かわさきく れきし さいがいのち あんぜん ぼしよ ぼうさい れきし まな ひつよう 川崎区の歴史からみると災害時にどこが安全な場所かわかる。防災について歴史から学ぶことも必要である。 ③ ぼうさい きき かんりしつ かわさきく きき かんりちいききょうざい けんとう やくわりぶんたん ひつよう 防災については、危機管理室や川崎区危機管理地域協議会で検討されているので、役割分担が必要である。 ④ つなみ とし ひなんぼしよ たか たてもの うえ かんが おくじょう で たてもの おお つなみ とし ひなんほうほう 津波の時の避難場所は、高い建物の上が考えられるが、屋上に出られない建物が多い。このため、津波の時の避難方法な ど仕組みを検討する必要がある。 ⑤ ぼうさい げんじょう し くきき かんりたんとう ひありんぐ おこな 防災の現状を知るため、区危機管理担当にヒアリングを行う。 ⑥ だい きくみんかいぎ こみゆにていばす ひつようせい けんとう ひ つづ こみゆにていばす けんとう 第3期区民会議では、コミュニティバスの必要性について検討した。引き続き、コミュニティバスについて検討するべきだ と思う。 ⑦ こみゆにていばすどうにゆう うんえいしゆたい ぐたいでき るーと うんえいほうほう けんとう ひつよう コミュニティバス導入については、運営主体、具体的なルートなど運営方法を検討する必要がある。 ⑧ こみゆにていばすどうにゆう こうれいしや びょういん い くない めいしよ まわ ふくし かんこう してん コミュニティバス導入については、高齢者が病院へ行きやすくすることや区内の名所を廻れるなど、福祉や観光の視点を 入れる必要がある。	I ちいき みじか ぼうさいりよく れきし かんきょう まな 地域で身近な防災力(歴史、環境から学ぶ) さいがいのち あんぜんかくほ かわさきく れきし かんきょう ふ 災害時の安全確保のため、川崎区の歴史や環境も踏 まえ防災を考える必要がある。 II こみゆにていばすどうにゆう そくしん かんこう ふくし こうじょう コミュニティバス導入の促進(観光と福祉の向上) だれ くない あんぜん あんしん いどう 誰もが区内を安全に安心して移動できるようにする ため、福祉や観光の視点を入れたコミュニティバスの どうにゆうほうほう けんとう ひつよう 導入方法を検討する必要がある。